

6月19日に平成29年度独自目標監査及び平成30年度独自目標設定委員会が開かれました。

平成29年度監査結果

○第1ステージ第2ステップ

独自目標			規格番号（部門）	環境対策をしているか？
番号	内容	達成状況		
D101	温室効果ガス H26-28 平均値	×	1-12 (エコアクション)	環境に配慮して行政運営しているか？
D102	電気使用量 H26-28 平均値	○		
D103	ホームページ 5月～10月間 1人6回	○		
D104	廃棄物排出量 H26-28 平均値	×		
D105	公用車使用燃料 H26-28 平均値	○		
D106	水道使用量 H25-27 平均値	○		
D107	LAS-E 関係職員研修年 2回以上	○	1-23 (エコマネジメント)	
D108	各課 LAS-E 取組内容の確認	○		
D109	環境ニュース年3回以上発行	○	1-30 (エコガバナンス)	

○第2ステージ第1ステップ

独自目標			第2ステージ第1ステップ	町民・事業者との環境政策を実施しているか？
番号	内容	達成状況		
D201	個人住宅用太陽光発電導入助成件数	×	2-12	
D202	遊水公園清掃参加人数	○		
D203	水辺イベントの開催	○		
D204	1人1日当たりのゴミ排出量 H17年度対比 50%減	×		
D205	地産地消を促す場づくりの事業開催	○		
D206	土幌町環境マネジメントシステム推進本部会議	○		
D207	環境に関する意見交換	○		

平成 30 年 6 月 19 日

士幌町長
小林 康雄 殿

独 自 目 標 監 査 報 告 書

主任監査員 貝守 良光
副主任監査員 東村 達夫
副主任監査員 小澤 はる奈

1. 監査日時

平成 30 年 6 月 19 日（火）13:30～14:15

2. 監査対象

士幌町役場

3. LAS-E 監査内容

独自目標(平成 29 年度実績)監査

- ①第 1 ステージ第 3 ステップ（エコアクション、エコマネジメント、エコガバナンス）
- ②第 2 ステージ第 1 ステップ

4. 監査結果

（1）第 1 ステージ

番号	内容	目標値	実績値	達成状況 ※
D101	温室効果ガス H26-28 平均値	3,378kWh	3,513kWh	×
D102	電気使用量 H26-28 平均値	2,616,738kWh	2,616,623kWh	○
D103	ホームページ 5 月～10 月間 1 人 6 回	100%	100%	○
D104	廃棄物排出量 H26-28 平均値	9,494kg	10,504kg	×
D105	公用車使用燃料 H26-28 平均値	28,511ℓ	22,950ℓ	○
D106	水道使用量 H25-27 平均値	46,547 m ³	45,182 m ³	○
D107	LAS-E 関係職員研修年 2 回 以上	2 回	2 回	○
D108	各課 LAS-E 取組内容の確認	月 1 回	月 1 回	○
D109	環境ニュース年 3 回以上発行	3 回	3 回	○

(2) 第2ステージ

		目標値	実績値	達成状況※
D201	個人住宅用太陽光発電導入 助成件数	10 件以上	5 件	×
D202	遊水公園清掃参加人数	50 人以上	100 人	○
D203	水辺イベントの開催	年 1 回	1 回	○
D204	1 人 1 日当たりのゴミ排出量 H17 年度対比 50%減	589g	784.1g	×
D205	地産地消を促す場づくりの事業 開催	年 1 回	1 回実施（収穫 祭）	○
D206	士幌町環境マネジメントシステ ム推進本部会議	年 2 回	2 回	○
D207	環境に関する意見交換	年 1 回	1 回実施（しほ ろ会議）	○

※達成状況 ○=達成 ×=未達成

5. 所見

(1) 第1ステージ

エコアクションに関する項目は、温室効果ガス排出量と廃棄物排出量を除く項目で目標を達成しました。

温室効果ガス排出量で目標値を達成できなかった主な要因は、春先の気温が上がらず例年より暖房使用期間が延びた施設があったこと、ストーブに繋がるホースから灯油が漏れていた施設があったことです。後者についてはすでに修繕が済んでいるとのことですが、同様の問題が生じないように各施設で未然に点検されると良いと思います。

廃棄物排出量については、施設内の資料やごみなどをまとめて処分したことが要因でした。不用品や資料の整理のため、数年おきに大量の廃棄物を輩出せざるを得ないケースは今後もありうると思いますが、年度初めに計画を立てて目標設定時に反映するなど、目標が無効化しない方策を検討していただきたいと思います。

(2) 第2ステージ

7項目中5項目で目標を達成できました。

達成できなかった目標のうち「個人住宅用太陽光発電導入助成件数」は、売電単価が低下している中さらに太陽光発電の設置件数を増やしていくのは現実的には難しい状況になって来ていると考えられます。この施策が「町民に住宅のエネルギーについて考え、化石燃料の使用量を削減してもらう」ことを狙いとするならば、省エネルギー機器の購入や省エネ改修にも利用できる制度にする、普及啓発を実施するなど、同じ予算の中でより効果的に施策の狙いを達成できる手法を検討されても良いのではないのでしょうか。

「1人1日当たりのゴミ排出量」については、昨年度に引き続き目標を達成できませんでしたが、カウント対象に資源ごみも含まれるなどの齟齬が環境基本計画の改定作業の中で改善されたとのことです。平成30年度以降、あらためて町民にも呼びかけて達成に向けて取り組みを強化していただきたいと思います。

(3) 今後について

士幌町では地球温暖化対策実行計画自体をLAS-Eに位置づけて運用していますが、この計画における目標年次は平成29年度となっており、計画の改定がまだ行われていません。地球温暖化対策実行計画（事務事業編）はすべての市区町村に策定が求められているものであるため、早急に次の計画期間および目標値を設定していただくことを望みます。その際、これから想定される公共施設の統廃合についても考慮し、施設立地の適正化と残される施設のエネルギー効率向上をあわせて実現し、主にハード面から温室効果ガスの排出削減を進めていく計画とされることをお勧めします。

また第2ステージ相当の項目については、目標に掲げた施策が例年着実に実施されています。今後は「実施した」ことのみを評価するのではなく、取り組み内容の改善を促すような「目指す価値のある」目標設定のあり方について検討していただきたいと思います。

平成30年度 独自目標

○第1ステージ第3ステップ

		目標値	
D101	温室効果ガスH26-28 平均値以下	3,378	t-CO2
D102	電気使用量 H29 実績以下	2,617	Mwh
D103	ノーマイカーデー 5月～10月間 1人6回	100	%
D104	廃棄物排出量 H26-28 平均値以下	9,494	kg
D105	公用車使用燃料 H29 実績以下	22,950	リットル
D106	水道使用量 H29 実績以下	45,182	m ³
D107	LAS-E 関係職員研修年 2回以上	全体研修 1	回
		実行責任者・環境マネージャー研修 1	回
D108	各課 LAS-E 取組内容の確認	月 1回	回
D109	環境ニュース年 3回以上発行	3回以上	回

○第2ステージ第1ステップ

D201	個人住宅用太陽光発電導入助成件数 年 10 件以上
D202	遊水公園清掃参加人数 1 回 50 人以上
D203	水辺イベントの開催 年 1 回以上
D204	1 人 1 日当たりの可燃・不燃ゴミ排出量 H17 年度対比 38.1%減
D205	地産地消を促す場づくりの事業開催 年 1 回以上
D206	士幌町環境マネジメントシステム推進本部会議 年 2 回以上開催
D207	環境に関する意見交換 年 1 回以上

～節電のご協力をお願いします～

9月6日発生した北海道胆振東部地震の影響で、北海道では相当の電力の供給力不足が発生することから、皆様の節電へのご協力をお願い致します。

今後の停電を避けるためにも、平日8時～20時30分の間は「節電タイム」とし、使わない照明をこまめに消すこと、1つの部屋に集まって過ごすこと、使用していないときは、洗濯機、炊飯器、電気ポットなどのコンセントを抜くなど、ご家庭での出来る限りのご協力をお願い致します。

第2ステージでは、地域全体が対象となり、町の環境政策を推し進めるため、皆様にも一層のご理解とご協力をお願いいたします。

※士幌町環境マネジメントシステムのホームページを公開しております(<http://www.shihoro.jp/env/>)